



# Wall Street Systems, Red Hat Enterprise Linuxへの移行で 収益増とコスト削減を達成

## 概要

会社名	Wall Street Systems
業種	金融サービス - ソフトウェア
地域	グローバル
事業上の課題	24時間/週7日利用可能なソフトウェアサービスによる新たな収益モデルの創出。 社内システムのコスト削減、信頼性と拡張性の向上。 インフラ投資を削減し、市場競争力を確保。
ソフトウェア	Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform WebSphere, WebLogic, Apache Tomcat, Oracle DB
ハードウェア	Intel Xeonベースのx86サーバ
移行パス	Solaris搭載のSPARCサーバからRed Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform Intel Xeonサーバ
利点	新しい収益機会を創出し、業界での主導的地位を維持。 コストを削減し、同時に業務の効率化を達成。信頼性の高いシステムを構築。



## 背景

Wall Street Systems社は、金融市場でビジネスを展開する財務アプリケーションのプロバイダです。数々の受賞歴を持つWall Street Systems社は、金融機関の他、様々な業界の企業に対して、資金管理、セントラルバンキング、外貨取引、グローバルに展開するバックオフィス業務をより効率よく管理するためのアドバイスや、ワークフローの改善といったサービスを提供しています。

高品質な顧客サービスと技術革新で有名なWall Street Systems社は、ニューヨーク、ロンドン、シンガポールといった世界の金融の中心地に地域本部を置き、グローバルに業務を展開しています。1986年に創立された同社の従業員は現在500名。一日に数百万トランザクションと数兆ドルの処理を行い、300社を超えるクライアントにサービスを提供しています。

## 事業上の課題

収益創出とコスト削減というビジネス上の課題を抱えていたWall Street System社がRed Hatを検討するに至った経緯は2つありました。

まず最初に注目したのが、同社のベストセラーである財務アプリケーションです。コスト意識が高まっている市場にこの製品のRed Hat Enterprise Linuxバージョンを提供できれば、新しい収益ストリームが創出できると考えました。また同時にWall Street Systems社は、今日の経済状況においてほとんどの企業がそうであるように、業務の合理化によって自社のコストを削減したいと考えていました。

Wall Street Systems社の製品は、当初はVMS環境向けに提供されていました。時代の流れとともに、同社はVMSからHP-UXへ、さらにSun Solarisへと製品を移行してきました。しかし2001年以降、顧客から、同社のアプリケーションのRed Hat Enterprise Linuxバージョンが欲しいという要望があがるようになりました。「当社のクライアントは、自分たちが使っているSPARCと専用のUNIXのマシンを、標準規格に基づくIntel Xeonベースのサーバにリプレースしたいと考えていたのです」と、Wall Street Systems社の最高技術責任者であるMark Tirschwell氏は語っています。「企業各社は時代の流れを正確に見極めており、弊社にとってのチャンスもそこにありました」

その要望に応えるべくWall Street Systems社はすぐに、自社内のSolarisベースの社内インフラを再検討しはじめました。Solaris 8が生産終了(EOL)に近づいていたため、ちょうど同社のシステムは大きなアップグレードが必要になる時期だったのです。そして販売見通しを示すために自社ソフトのデモ版を構築した段階で、Tirschwell氏は移行に踏み切ることを決断しました。

「実際にはそれ以前から、将来の問題を予測して、SolarisからRed Hat Enterprise Linuxへのポータリングを試してはいました」とTirschwell氏は言います。「我々は、自社のソフトウェアを軽量化して、x86ラップトップで動作するデモ版を作りました。私はその効率と信頼性に感銘を受けました。そこで、すべての社内システムを、Red Hat Enterprise Linuxを搭載したIntel Xeonベースのサーバに移行することを決定したのです」

## 解決策

現在、Wall Street Systems社は、自社の主力財務アプリケーション全てにおいて、Red Hat Enterprise Linuxバージョンを提供しています。また、すべての開発および品質保証(QA)作業を行うために、Red Hat Enterprise Linux Advanced Platformを搭載したIntel Xeonベースのサーバを社内稼働させています。

Tirschwell氏は早い段階から、Red Hat Enterprise Linux Advanced Platformの仮想化テクノロジーをベースに、自社の仮想化戦略に取り組んでおり、現在Wall Street Systems社では、70台の物理サーバ上の250以上の仮想マシンでRed Hat Enterprise Linux Advanced Platformが稼働しています。

## 利点

Red Hat Enterprise Linux Advanced Platformを搭載したIntel Xeonサーバに移行するメリットは、即効性のある十分なものでした。まずRed Hat Enterprise Linuxバージョンのソフトウェアの提供により、収益がありました。顧客となったのは新規顧客もちろんですが、独自規格のRISC/UNIXからRed Hat Enterprise Linuxを搭載した標準規格ベースのIntel Xeonサーバに自社業務を移行しようとする既存ユーザも対象となりました。

最大の推進要因はコストでした。「HP-UXまたはSolaris上における販売見通しのひとつひとつについて、レガシー環境と、Red Hat Enterprise Linuxの、2つの見積りを比較しました」とTirschwell氏は言います。コストの比較結果は驚くべきものでした。Solarisのインストールに必要な資本支出は(ソフトウェアライセンスとハードウェアコストを計算に入れると)100万ドル以上に達する場合があったのです。「それに比べて、標準的なRed Hat Enterprise Linuxの配備にかかるコストはわずか25万ドルです」とTirschwell氏は語っています。

もちろんコスト削減だけでなく、十分に信頼性が担保されていることも必須条件でした。「弊社のアプリケーションは時に、お客様の利用するシステムの中でも最もミッションクリティカルなシステムに対応することもあります。それらのシステムは99.999%のアップタイムを必要とします。もしシステムがダウンすれば、数百万ドルの損失につながる可能性があるのです。そのお客様が安心して、最大規模の基幹システムをRed Hat Enterprise Linux上で稼働させ、またRed Hatから提供されるサポートにも満足しているのです」と、Tirschwell氏は語っています。

Wall Street Systems社自体も、極めて大きなコストメリットを実感しました。「標準規格ベースのIntelハードウェアが使えること、仮想化との組み合わせによって、当社データセンターのコストが大幅に低下しました」とTirschwell氏は語っています。「特に、仮想化によってハードウェアを最大限に活用できることで、15ラックあった機器を12ラックに削減できました」

さらに、業務効率に伴う間接的な効果もありました。「当社のシステム管理者たちは、Red Hat Enterprise Linuxのインターフェイスが大変気に入っています。直観的で、ツール類も使いやすいからです」

Wall Street Systems社では、Red Hat Enterprise Linuxによる重要な新規事業にも取り組んでいます。主力製品の一部を、SaaS(software-as-a-service)モデルに移行しているのです。それらの製品用のインフラストラクチャは、Red Hat Enterprise Linuxを搭載したIntel Xeonベースのサーバを基盤としています。

「Red Hatの存在なしでは、弊社のSaaS事業への進出もなかったでしょう」とTirschwell氏は語っています。「HP-UXやSolarisが要求するインフラ投資を実行したら、SaaS事業で収益をあげるだけのマージンは残りません」

「Red Hat のサポートと、Red Hat Enterprise Linuxは、弊社のお客様からも信頼されています。お客様が運営する最大規模の基幹システムがRed Hat Enterprise Linux上で問題なく稼働しております。SPARC/UNIXのマシンを、標準規格に基づくIntel Xeonベースのサーバに切り替えることを望んでいたのです」

Wall Street Systems社CTO  
Mark Tirschwell氏

